

- 1 単元 あきと なかよし
- 2 指導計画(9時間完了)
 - (1) いきものと なかよし・・・9時間(本時6/9)
 - (2) はなや やさいを そだてよう・・・2時間
 - (3) あきと ふれあおう・・・11時間
 - (4) つくろう あきの おくりもの・・・8時間

3 本時の指導

(1) 目標

- 飼っている虫の特徴を伝えるための資料をつくることができるようにする。

ICT活用のねらい

- デジタルカメラを活用して、飼育している虫の特徴を伝える資料を作成することができるようにする。

(2) 準備

教師・・・文字カード、写真、書画カメラ、モニター、拡大したワークシート
 児童・・・発表原稿、飼っている虫、虫かご、ワークシート、デジタルカメラ、画用紙

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
1分	1 本時のめあてを確認する。	
めあて：ともだちのいけんをきいて、はっぴょうにつかうしりょうをつくろう。		
5分	2 発表の例を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書画カメラを活用して、資料を見せずに発表した場合と、見せて発表した場合を比べさせることで、写真や絵の必要性に気付かせる。 ○ 話の内容に合わない資料を見せて発表し、資料選びの大切さに気付かせる。
19分 (3分)	3 班に分かれて、発表に使う資料を決める。 (1) 自分で考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に同じ虫を飼っている児童同士で班編制しておく。 ○ 前時の気付きを紹介するのにふさわしい資料を考えさせる。 ○ どのような資料を作成するかをワークシートに記入させる。
(16分)	(2) 相談して決める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用意する資料と発表原稿の内容が合っているかを相談して確認させる。 ○ 用意する資料を変更した場合はワークシートに記入させる。
18分	4 発表に必要な資料を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルカメラのマクロ機能を使って虫の一部を拡大して撮影させる。 ○ 資料として絵を描く児童には、伝えたい部分を大きく描かせる。 ○ 一人が虫をつかんで、一人が撮影するなど協力して資料をつくらせる。 ○ 資料作成が終わった班は、発表の練習をさせる。
<p>評価事項</p> <p>飼っている虫の特徴を伝えるための資料を作成することができる。</p> <p style="text-align: center;">【ワークシートの記述】 【作成した資料】 (思考・表現)</p> <p>□…自分の発表することが虫のどの部分を表しているかを考えさせる。</p> <p>☆…教師が用意した資料を参考にどの部分を強調するかを考えさせる。</p>		
2分	5 本時のまとめ	○ 次時は資料を使って発表することを確認する。

※ゴシック体・・・ICTを活用する学習活動及び指導上の留意点